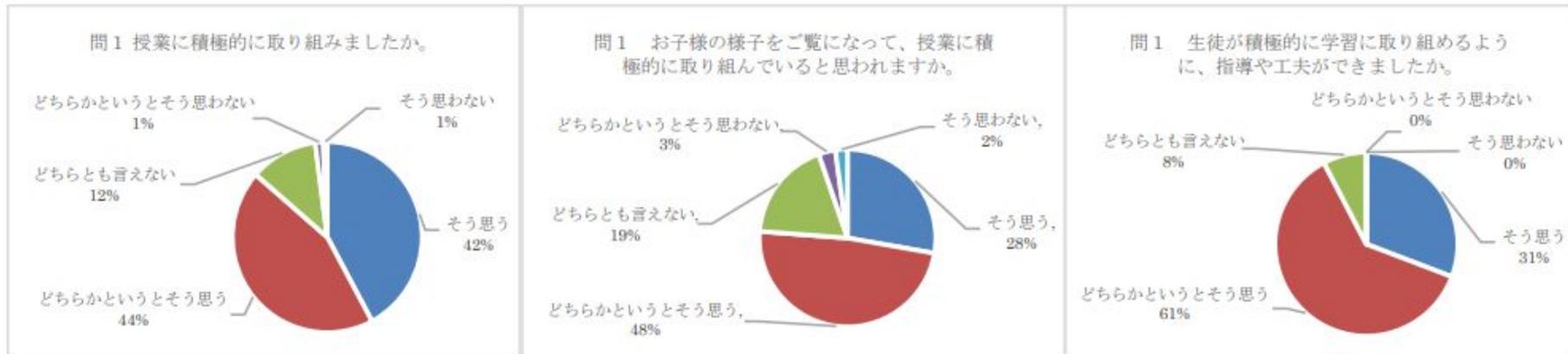


令和7年度
第三回学校運営委員会
前期評価結果についての説明

令和7年9月10日 14:30～

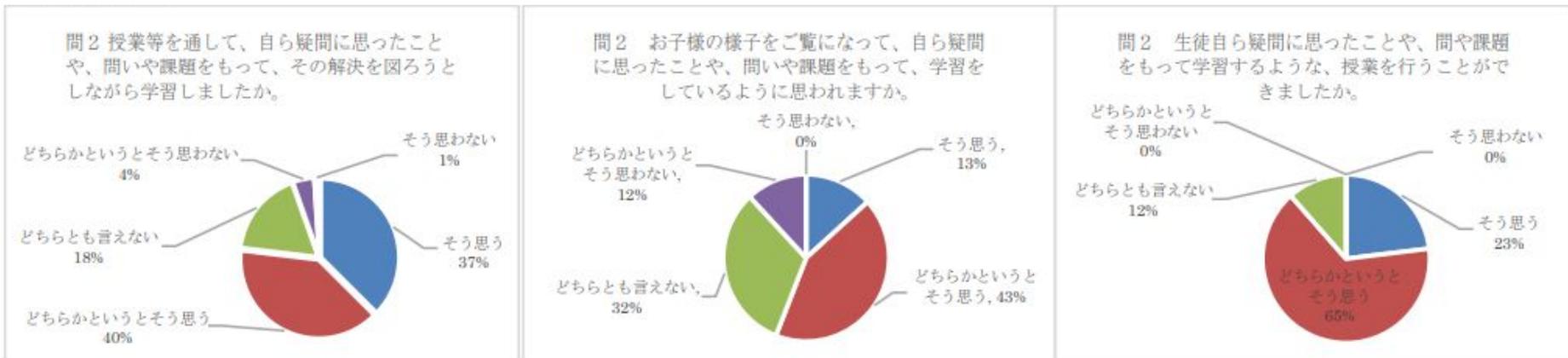
1 自ら学ぶ意欲



担当より

授業スタンダードをもとに、各教員が各授業ごとに独自の工夫・改善を行えることで生徒の主体性を概ね促進できている。今後もさらなる工夫・改善を進めることと、配慮生徒への対応を両立していく。

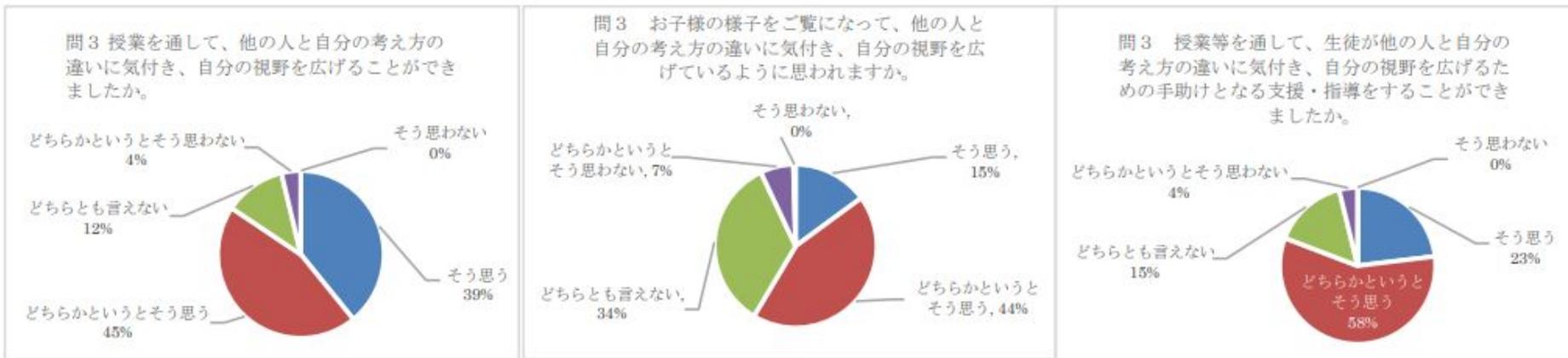
2 探究学習



担当より

担当総合的な学習の時間のみならず、各教科の授業でも探究的な学びを取り入れることで、探究的な学習方法が定着し始めている。問いや課題の設定を自立的に行っていききたい。

3 共働的な学び

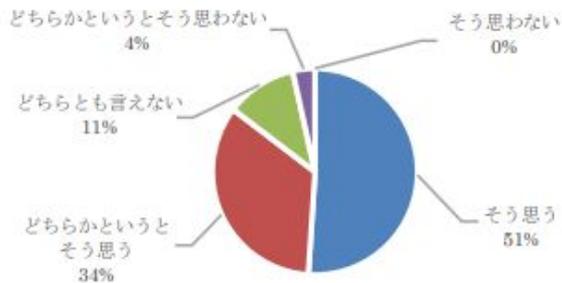


担当より

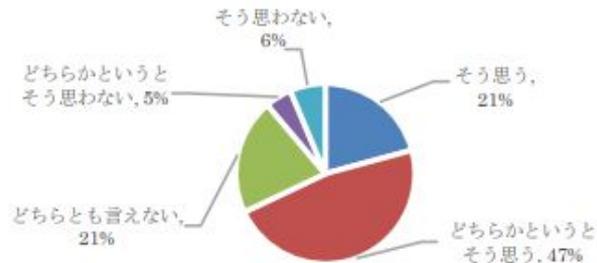
道徳の時間を含めて対話的な活動の進め方が、様々な授業で活用されている様子である。今後、司会者等がリーダーではなく、ファシリテーターとして十分に機能できるように、生徒、教員共に理解を深めていく。

4 ICT機器の活用(学校内)

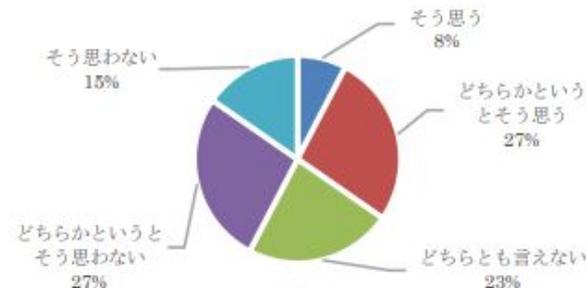
問4 学校の授業で、タブレットを効果的に活用していますか。



問4 お子様の様子をご覧になって、学校の授業の中で、タブレットを効果的に活用していると思いますか。(※2・3年生のみご回答。)



問4 学校の授業の中で、生徒がタブレットを効果的に活用するような取組ができましたか。

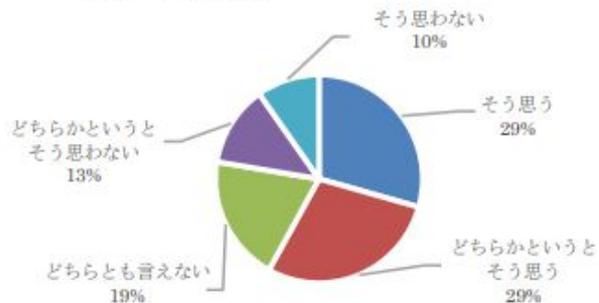


担当より

教員のタブレットの使用形態の実態を把握し、二中での指針を定める。そのうえで、西東京市が示すタブレットのガイドラインにそった授業を展開する。

5 ICT機器の活用(家庭内)

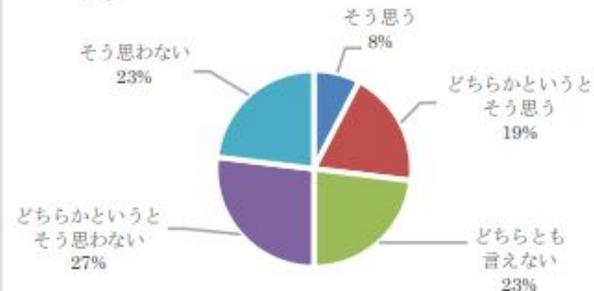
問5 家庭学習の中で、タブレットを効果的に活用していますか。



問5 お子様の様子をご覧になって、家庭学習の中で、タブレットを効果的に活用していると思いますか。(※2・3年生のみ回答。)



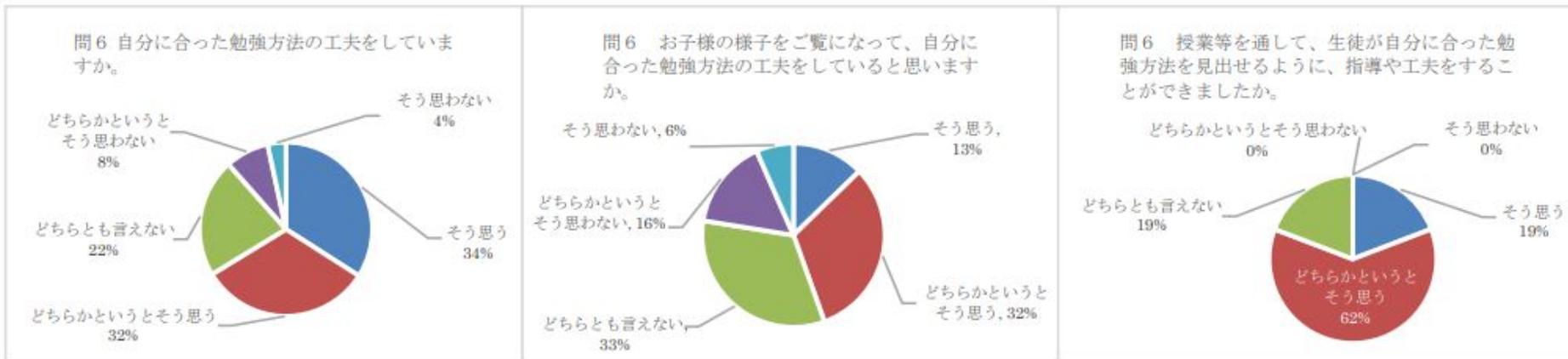
問5 家庭学習の中で、生徒がタブレットを効果的に活用するような取組ができましたか。



担当より

家庭内での学習を充実させるために、Googleclassroomに授業で使用したスライド等を載せることで、授業を見返せるようにする。また、生徒の興味関心を引くようなデジタルツール(カフト・Monoxer)を活用し、課題を出す。

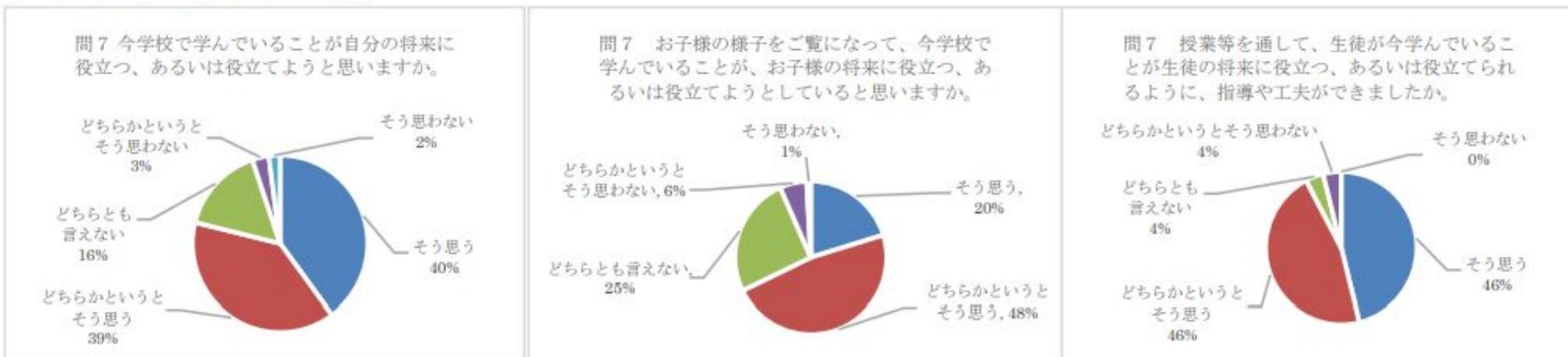
6 個別最適な学び



担当より

デジタル教科書やe-library、Monoxerなどの学習アプリの使用を促進し、個に応じたスピードで学習できたり、振り返り学習ができるようにする。同じ授業の中でも、個人の習熟度や理解度に応じて取り組めるような課題を出す。

7 キャリア教育・自己実現

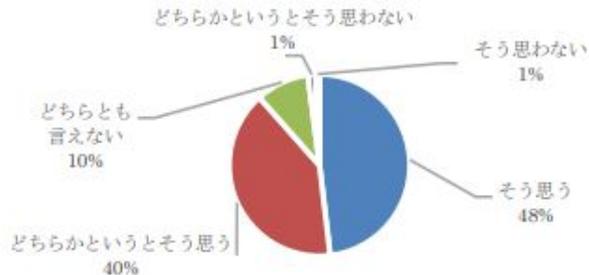


担当より

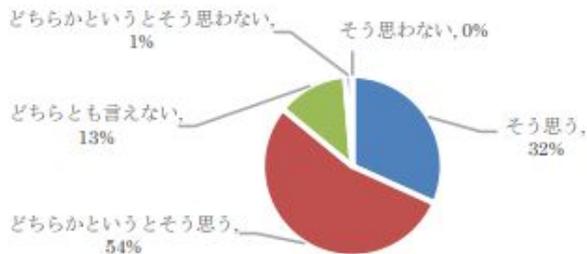
キャリア・パスポートや学期の振り返りを中心に、自身の変容や成長を自己評価しながら、自己のキャリア形成に概ね生かすことができる。2学期以降は、進路学習や職場体験学習などを通して、より具体的な社会参画の形を意識しながら。キャリア形成を促進していきたい。

8 思いやり

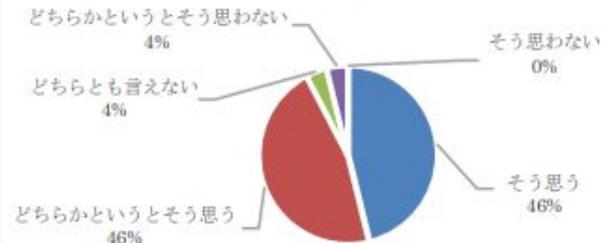
問8 学校生活では、お互いの立場や個性を尊重し、「思いやり」の心をもって他の人に接することができましたか。



問8 お子様の様子をご覧になって、お互いの立場や個性を尊重し、「思いやり」の心をもって他の人に接しているように思われますか。



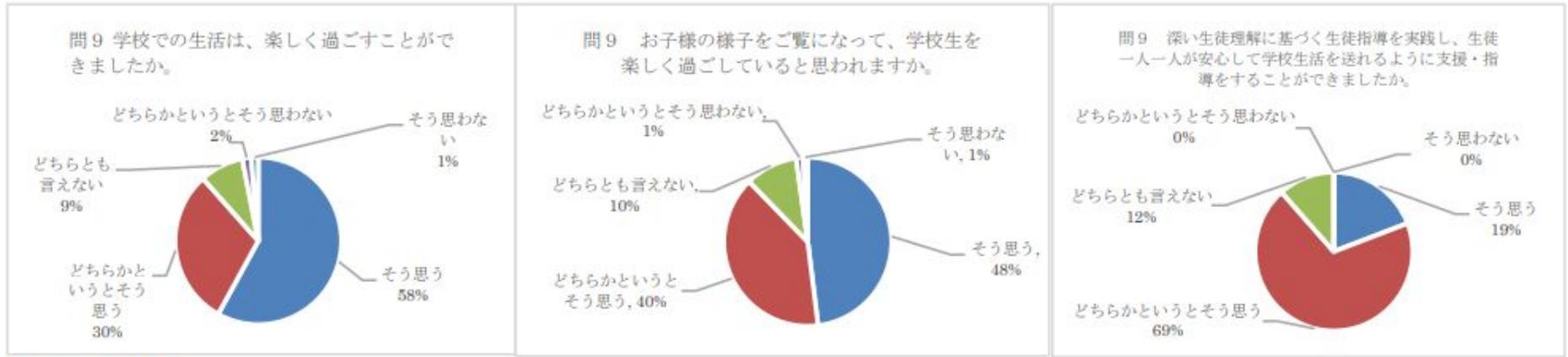
問8 学校生活において、生徒がお互いの立場や個性を尊重し、「思いやり」の心をもって他の人に接するように支援・指導を行うことができましたか。



担当より

教職員・生徒ともに、温かく、正しい言葉遣いをするよう努める。弁護士の講話や国際理解活動を通して、異なる視点や背景への理解を深める機会をつくる。教員間で実践例等を共有し、活動のマンネリ化を防ぐ。道徳地区公開講座への保護者参加者が少ない傾向にあるため、テーマ設定の工夫や、保護者アンケートなどを通じて、家庭と連携した道徳教育の方向性を見直す。

9 良好な人間関係

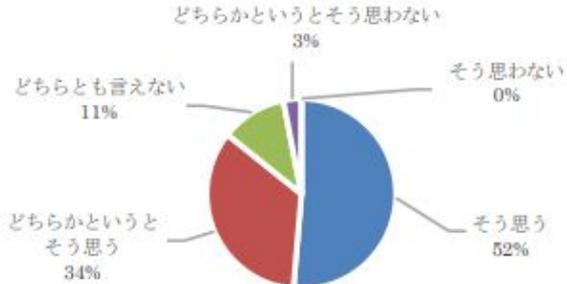


担当より

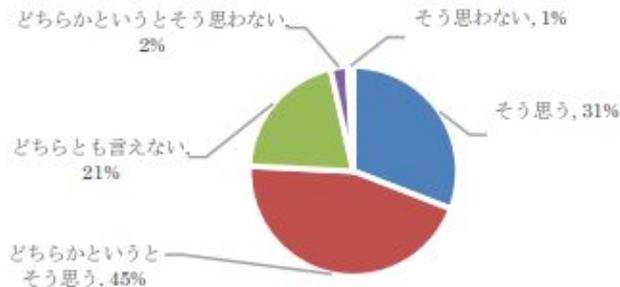
新学期と夏休み明けの担任による二者面談や、年3回のふれあいアンケートを通じて、生徒が困っている事や悩んでいる事を伝える機会を多く設けている。生徒の軽微な兆候も見逃さないように、教職員間で定期的に情報交換を行い、いじめ防止基本方針に基づいて対応する。委員会活動において挨拶運動を行い、生徒間でコミュニケーションがしやすい環境づくりに努めている

10 教育相談

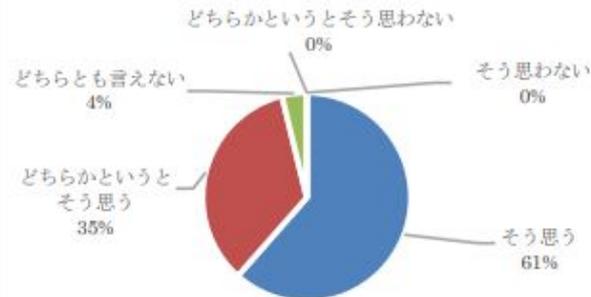
問10 学校生活の中で、必要な時に、先生が関わってくれたり、相談に乗ってくれたりしましたか。



問10 お子様の様子をご覧になって、お子様が先生を必要とする時に、先生が関わってくれたり、相談に乗ってくれたりしていると思えますか。



問10 必要に応じて、生徒と関わったり、相談に乗ったりすることができましたか。

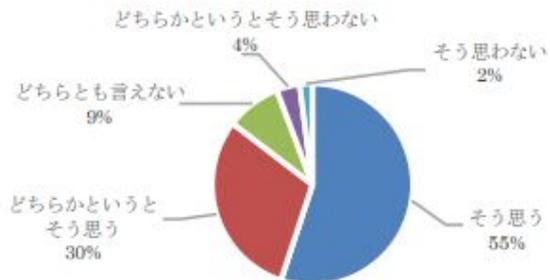


担当より

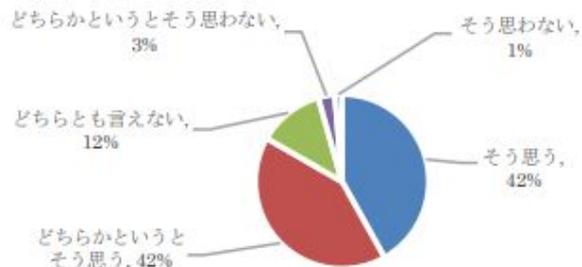
「相談週間」、生徒アンケート「アセス」の実施や、学年・学級活動等、様々な活動を通じ、生徒が自己存在感等を感じ、良好な人間関係を築けるよう支援する。また、校内適応指導教室「グリーンスペース」の活用や、スキップ教室、ニコモ等との連携を図り、不登校生徒が校内や校外に繋がりを持つことを目指す。合理的配慮の相談があった場合は適切に対応できるよう、行内体制を整えた2学期はスクールカウンセラーによる保護者向け講演会や教員研修を行い、生徒理解に努めるとともに、困ったことがあったら相談しやすい雰囲気を作り、生徒が安心して学校生活を送れるよう、教育相談の充実を図る。

11 生徒主体の活動・やりぬく力

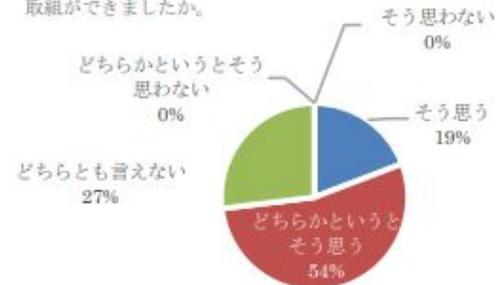
問11 係や委員会、行事等に積極的に取り組み、参加をすることができましたか。



問11 お子様の様子をご覧になって、係や委員会、行事等に積極的に取り組み参加しているように思われますか。



問11 係や委員会、行事等で、生徒が自ら企画・運営にかかわる場面を多く取り入れるなど、生徒主体の行事に前向きに取り組ませ、達成感が得られるような取組ができましたか。

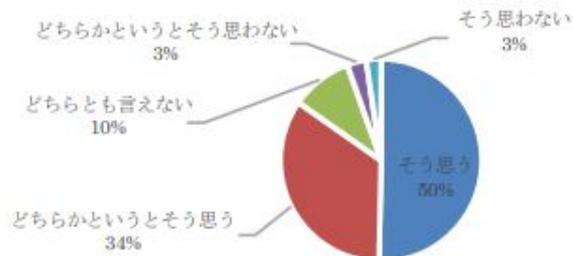


担当より

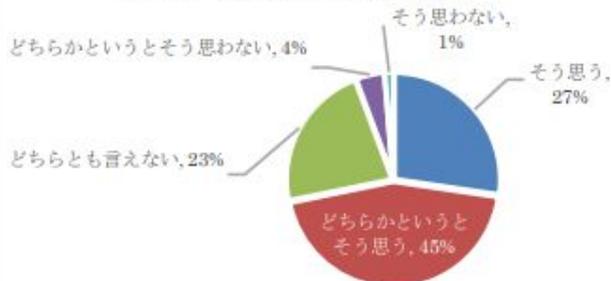
委員会毎に年間の目標や活動計画を立てさせ、教員はサポート役として関わる。活動の結果や行事の成功だけでなく、過程の苦労や仲間との協力などを価値づける指導を行う。生徒会主催でイベントを行い、異学年交流を通して、良好な関係を築く。活動の過程や成果を、掲示等で可視化し、達成感を生徒自身が感じられるように工夫する。生徒が自ら企画したもの(昼休みの体育館開放等)をルールを整え周知し、役割を決めて、積極的に参画させる。

12 健康・体力

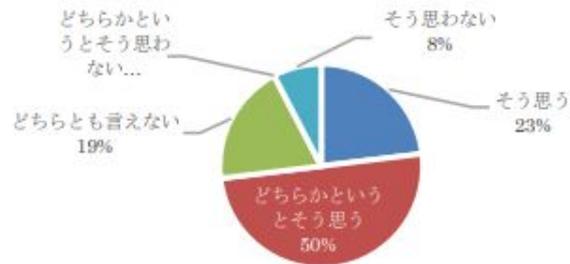
問12 学校生活の中で、健康や体力を維持・向上させることの大切さを理解し実践することができましたか。



問12 お子様の様子をご覧になって、健康や体力を維持・向上させることの大切さを理解し実践しているように思われますか。



問12 学校生活の中で、生徒自ら生涯に渡り健康や体力を維持・向上させることの大切さを理解し実践できるよう、支援・指導することができましたか。



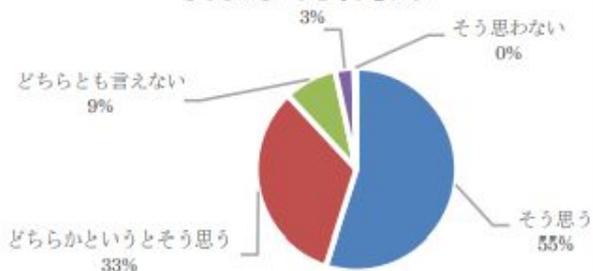
担当より

運動会は種目の改善を図り、運動が苦手な生徒も実施しやすい内容にしていた。体育授業の準備運動ではランニングや腹筋等の補強運動を継続して行っている。各単元では実践しやすい練習内容を取り入れ、苦手意識の高い生徒にとっても運動しやすく体力向上につながる工夫をしていく。

13 正しい判断

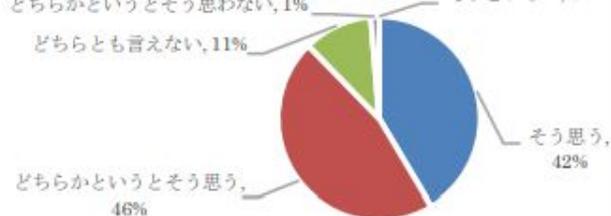
問13 学校生活を通して、良いこと悪いことの判断ができましたか。

どちらかというと思わない



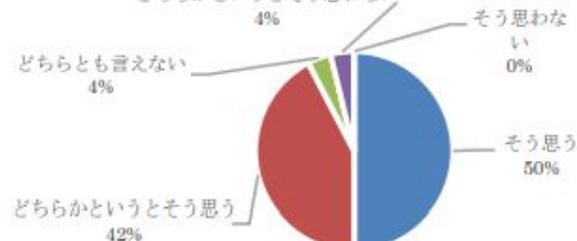
問13 お子様の様子をご覧になって、良いこと悪いことの判断ができるようになったと思えますか。

どちらかというと思わない, 1%



問13 学校生活を通して、良いこと悪いことの判断がもてるように支援・指導を行うことができましたか。

どちらかというと思わない

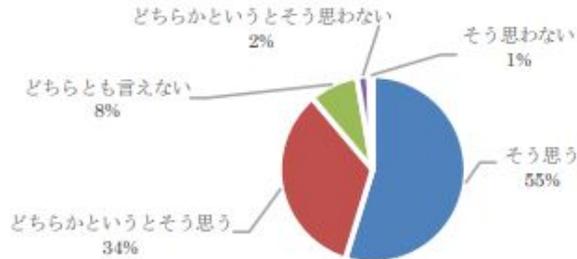


担当より

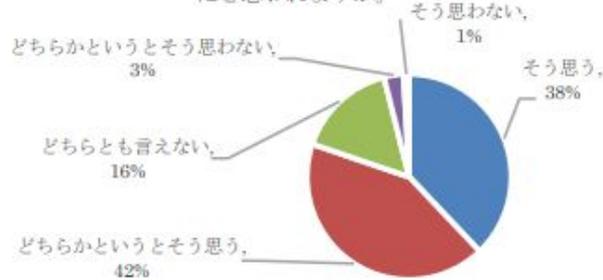
道徳の授業や総合的な学習の時間に、自分と異なる価値観を尊重しながら自分の意見をもつ力を育てる。日常の係活動や当番活動など、生徒が責任をもって取り組む場面を多く設定し、責任を果たすことの意義を体感させる。

14 あいさつ・規範意識

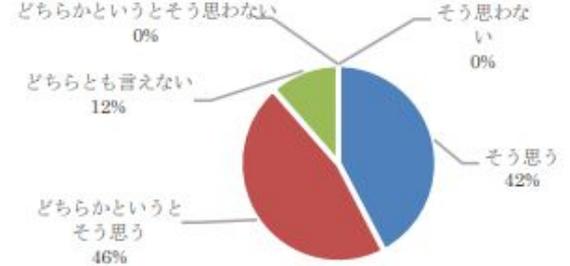
問14 学校生活の中で、あいさつを積極的に行い、学校起立や時間を守ることができましたか。



問14 お子様の様子をご覧になって、あいさつ・授業規律・時間を守ることが身に付いてきたと思えますか。



問14 学校生活の中で、あいさつ・授業規律・時間を守るよう指導することができましたか。

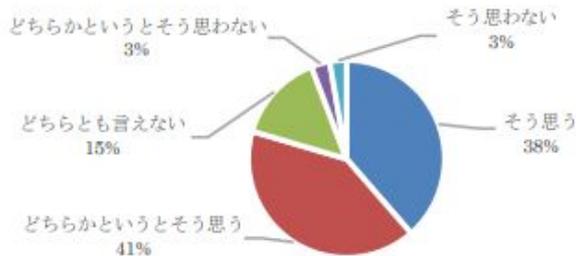


担当より

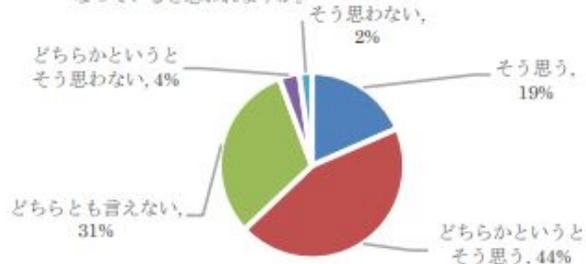
あいさつ運動を生徒会本部や委員会が中心となって定期的実施する。あいさつについての特別な役割を設けたり、掲示物を作成したりし、あいさつへの意識を高める。校外学習や修学旅行等でのルール決めをさせ、生徒自身に何が良いかを考えさせる。

15 地域と協働する力

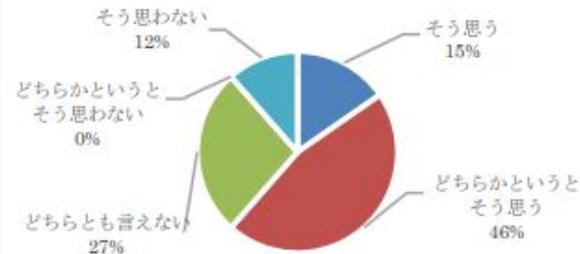
問15 「西東京ふるさと探究学習」等を通じて、地域社会を知り、今後、地域社会をはじめ社会に何らかのかたちで貢献してみたいと思うようになりましたか。



問15 お子様の様子をご覧になって、「西東京ふるさと探究学習」等の取り組みを通じて、地域社会を知り、今後、地域と協働することについて前向きな気持ちになっていると思われますか。



問15 「西東京ふるさと探究学習」等を通じて、生徒が地域社会を知り、今後、何らかのかたちで社会貢献をしたいと思えるような支援・指導をすることができましたか。

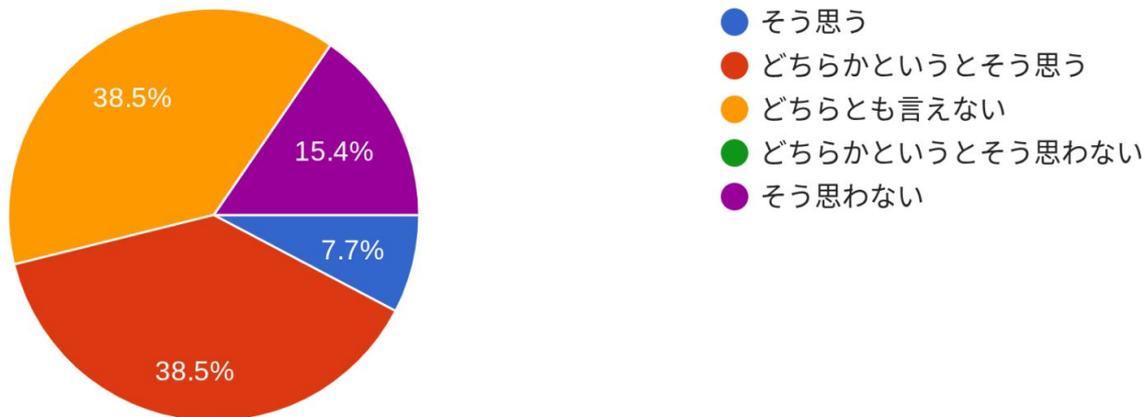


担当より

西東京ふるさと探究学習や職場体験学習を中心に、地域と連携し、社会貢献する態度の育成が概ねできている。地域との連携には課題があると感じている教員も多いので、渉外でのスキルアップと共に共通理解を深めていく必要がある。

16 業務改善・ライフワークバランス

問16 昨年度と比べて、担当する業務の改善や効...バランスを改善したりすることができましたか。
26件の回答



担当より

職員室の動線や整理整頓を進めるために、物の配置を検討しスムーズな動線や物を管理しやすい配置に整備していく。また、退勤時間や休暇取得の目標を立てるなどして、ライフワークバランスの向上を図る。